



2017年10月3日

報道関係者各位

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

## 「みんなで幸せでい続ける経営研究会」を発足

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の前野隆司教授らは、これまで幸福学に関する様々な研究を行ってきました。このたび、幸福経営研究の成果として、従業員、経営者、顧客、社会が幸せでい続けることのできる経営を企業や社会全般に広めるために、2017年10月より企業10数社とともに「みんなで幸せでい続ける経営研究会」を発足します。

### 1. 趣旨

健康経営、働き方改革、ストレスチェック、マインドフルネス、ポジティブ心理学など、従業員が心身ともに健康に働くことの必要性や、Well-being（健康・幸福）経営の重要性が注目を集めています。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科ヒューマンラボ（ヒューマンシステムデザイン研究室、前野隆司教授主幹）を中心に、株式会社ウエイクアップが事務局機能を担い、日本を代表する企業数社とともに、2016年10月より「みんなで幸せでい続ける経営研究会」の準備会（\*1）を行ってきました。そこで一定の成果をあげたため、2017年10月より、従業員、経営者、顧客、社会が幸せでい続けることのできる経営を参加企業や社会全般に広めるために、「みんなで幸せでい続ける経営研究会」を発足することとなりました。

#### \*1「みんなで幸せでい続ける経営研究会」の準備会

2016年10月から2017年9月まで毎月1回、計12回定例会議を開催し、幸福度計測法、幸福度向上法に関する議論を行ったほか、有識者や実践者の講演、ヤフー株式会社、サントリーホールディングス株式会社、日本たばこ産業株式会社の会社見学を実施。また、Well-being（幸福度）を向上するプログラム（ハッピーワークショップ）、マインドフルネス講座、TLC（ザ・リーダーシップ・サークル）講座を実施。

【参加企業】三菱鉛筆株式会社、花王株式会社、株式会社クレディセゾン、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JALサンライト、日本たばこ産業株式会社、古河電気工業株式会社、ホッピービバレッジ株式会社、ヤフー株式会社、株式会社ウエイクアップ

### 2. 「みんなで幸せでい続ける経営研究会」概要

従業員、経営者、顧客、社会が幸せでい続けることのできる経営を、参加企業や社会全般に広めることを目的とし、2017年10月4日に発足します。各社の取り組みについての情報交換を行う定例会議を毎月1回程度行うほか、各企業は幸福度向上のための施策を協力して行っていきます。また、参加企業を広く呼びかけます。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

- ・本リリース内容のお問い合わせ先

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 前野隆司（まえの たかし）

TEL: 045-564-2474 Email: maeno@sdm.keio.ac.jp

- ・本リリースの配信元

慶應義塾広報室（村上）

TEL: 03-5427-1541 FAX: 03-5441-7640 Email: m-koho@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>